

2026 年 8 月 19 日

報道関係者各位

株式会社オプティム
(東証プライム市場、コード: 3694)

ID 数無制限※1・企業定額、 シャドーAI 対策でリーズナブル・セキュアな生成 AI 活用基盤 「OPTiM Biz AI Agent β」提供開始 ～全従業員へ配れる公式 AI 環境で、シャドーAI を使う理由をなくす～

AI・IoT・ビッグデータプラットフォームのマーケットリーダーである株式会社オプティム（以下、オプティム）は、安全で効果的な AI 活用をリーズナブルに実現するクラウドサービス「OPTiM Biz AI Agent β」を、2026 年 8 月 19 日より提供開始します。

「OPTiM Biz AI Agent β」は、シャドーAI の検知・是正、企業が許可した公式 AI 利用環境の提供、利用状況・コストの可視化、業務エージェントの作成・共有を、一つの基盤で提供します。料金体系には ID 数無制限の企業定額制を採用し、利用頻度にかかわらず全従業員へ展開できる構造としました。

また、正式提供に先立ち、先行導入企業最大 100 社を対象として、1 年間無償でご利用いただける β プログラムを実施します。



■背景:シャドーAIの関与するインシデントは1年で倍増

生成AIの業務利用が広がる一方で、従業員が会社の承認を得ずに外部の生成AIサービスを利用する「シャドーAI」が、情報漏えいの主要な経路として顕在化しています。

IBM および Ponemon Institute が 2026 年に公表した調査によれば、シャドーAI が関与したセキュリティインシデントの割合は 43%に達し、前年の 20%から倍増しました。シャドーAI が関与した情報漏えいの平均被害額も 539 万米ドルとなり、前年の 463 万米ドルから拡大しています。同調査では、情報漏えいを経験した組織の 68%が AI ガバナンスに関する方針を整備していなかったことも報告されています※³。

こうした状況を背景に、北米ではシャドーAI の検知・可視化を担うソリューションへの需要が急速に立ち上がり、AI ガバナンスは情報システム部門の主要な投資領域の一つとなりつつあります。

また国内でも、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が 2026 年 1 月に公表した「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」において、「AI の利用をめぐるサイバーリスク」が組織向け脅威として初めて選出され、第 3 位にランクインしました※⁴。

AI 利用に伴うリスクは、長年上位を占めるランサム攻撃、サプライチェーン攻撃に次ぐ位置付けであり、すでに国内企業にとっても優先度の高い経営課題となっています。

■「禁止」ではなく「配布」へ — ユーザー課金制が生んでいた構造的な穴

生成AIの利用を一律に禁止しても、個人端末や個人アカウントへ移り、管理者から見えなくなるだけで、リスクはむしろ増大します。企業にとって必要なのは、未承認のAI利用を検知・可視化すると同時に、従業員が安心して使える公式のAI環境を用意することです。

しかし、従来の生成AIサービスの多くはユーザー課金制であるため、全従業員への配布は費用面で現実的ではありませんでした。その結果、「一部の従業員だけが公式環境を使い、配られなかった従業員はシャドーAIを使い続ける」という構造的な穴が生じていました。

オプティムは、この構造そのものを解消するため、ID 数無制限の企業定額制を採用しました。利用頻度の低い従業員にもコストを気にせず公式環境を配布できるため、シャドーAIを使う理由そのものをなくすことができます。

さらにオプティムは、端末管理、SaaS 管理、AI、IoT、画像解析、文書管理などの分野で培ってきた技術を有しています。なかでも端末管理の実装基盤は、シャドーAI の検知において、ネットワーク側やブラウザ拡張による検知では捉えきれない利用実態の把握を可能にします。

■「OPTiM Biz AI Agent β」のオプティム社内実証

本サービスの提供に先立ち、オプティム社内で「OPTiM Biz AI Agent β」の実証運用を実施し、社内実践を通じて有効性を確認しました。

・ 業務エージェントによる業務時間の削減

営業日報(セールスログ)の作成や議事録整理、法務相談(社内規程・契約確認の一次対応)など、担当者のノウハウに依存しやすかった定型業務を、前提条件や回答ルールを設定したAIエージェントが代行。部門や担当者によらず同一の品質で対応できるようになり、関連業務の作業時間を削減しました。なかでも、企画法務部門が導入したAIエージェント「リーガルチェック申請・壁打ちサポーター」は、公開後1か月で33名もの従業員が52回利用し、1件あたりの申請作業時間を約67%削減、確認・稟議のリードタイムを約38%短縮しました※⁵。

・ シャドーAIからの移行

従業員が個人で契約していた未承認の外部AIサービスの利用がなくなり、業務利用が公式環境に一本化されました。

・ 全従業員への展開

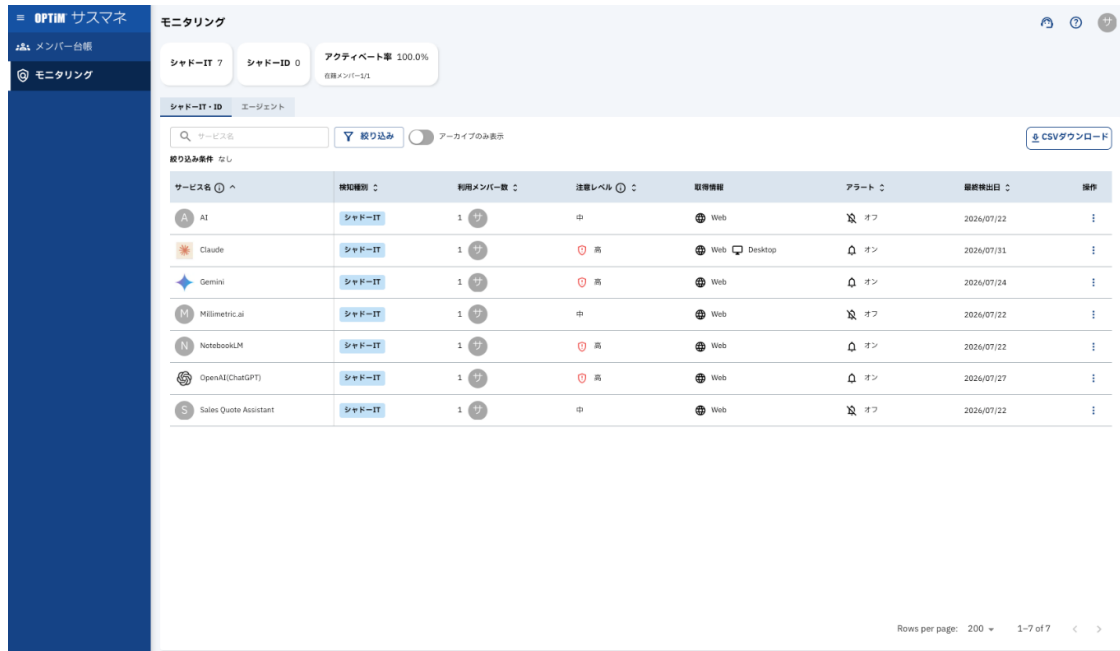
ID 数無制限・企業定額制の仕組みにより、利用頻度の低い従業員、アルバイトなどを含めて全社に公式AI環境を展開でき、部門や従業員を選ばず利用できる体制を社内実現しました。

■「OPTiM Biz AI Agent β」の特長

「OPTiM Biz AI Agent β」は、企業内の生成 AI 利用を一元的に管理し、安全性、コスト、利用状況、業務活用を統合的にコントロールするクラウドサービスです。

1. シャドーAI の検知・是正

社用 PC やスマートフォンなどにおける未承認の生成 AI サービス利用を検知し、管理者が利用状況を確認できるようにします。未承認 AI の利用を単純に遮断するだけでなく、利用者へ注意喚起を行い、会社が認めた公式の AI 環境へ誘導することで、安全性と利便性を両立します。



サービス名	検知種別	利用メンバー数	注意レベル	取得情報	アラート	最終検出日	操作
AI	シャドーIT	1	中	Web	オフ	2024/07/22	⋮
Claude	シャドーIT	1	高	Web Desktop	オン	2024/07/31	⋮
Gemini	シャドーIT	1	高	Web	オン	2024/07/24	⋮
Midimetric.ai	シャドーIT	1	中	Web	オフ	2024/07/22	⋮
NotebookLM	シャドーIT	1	高	Web	オン	2024/07/22	⋮
OpenAI(ChatGPT)	シャドーIT	1	高	Web	オン	2024/07/27	⋮
Sales Quote Assistant	シャドーIT	1	中	Web	オフ	2024/07/22	⋮

2. 生成 AI の公式利用環境

従業員は、企業が許可した生成 AI モデルを、統一されたチャット画面から利用できます。管理者は、利用可能な AI モデルや利用上限、ユーザー権限などを設定でき、企業のルールに基づいた生成 AI 活用環境を構築できます。



設定

設定

テナント全体に適用されるモデル・コストパフォーマンス設定を管理します

モデル

チャット

ツール

モデル設定

テナントで利用を許可するモデルを選び、その中から新規チャットのデフォルトモデルを指定します。コスト効率の良いモデルを設定することで、テナント全体の消費を抑えられます。

・ OpenAI (Azure) 2 / 7 モデル許可

☒ GPT-4.1 mini
軽快で低コスト。短い質問や下書きに向く

☐ GPT-4.1
汎用的にバランスよく使える標準モデル

☐ GPT-5.4 mini
軽量ながらじっくり考えて答えられる

☐ GPT-5 nano
最軽量。ごく短いやり取りを高早く処理

☒ GPT-5 mini
日常業務にちょうどよい標準モデル

☐ GPT-5.1
複雑な作業もこなせる高性能モデル

☐ GPT-5.2
最上位。難しい課題や長文作成に強い

・ Anthropic 2 / 4 モデル許可

☒ Claude Haiku 4.5
応答が速く、日常業務の親定として推奨

3. ID 数無制限・企業定額

ユーザーごとの課金ではなく、企業全体で利用量を共有します。部門や役職を問わず全従業員へ公式 AI 環境を配布でき、「使う人を絞る」という運用判断が不要になります。ID 数を気にすることなく導入できるため、より効果的な AI 環境をご利用いただけます。

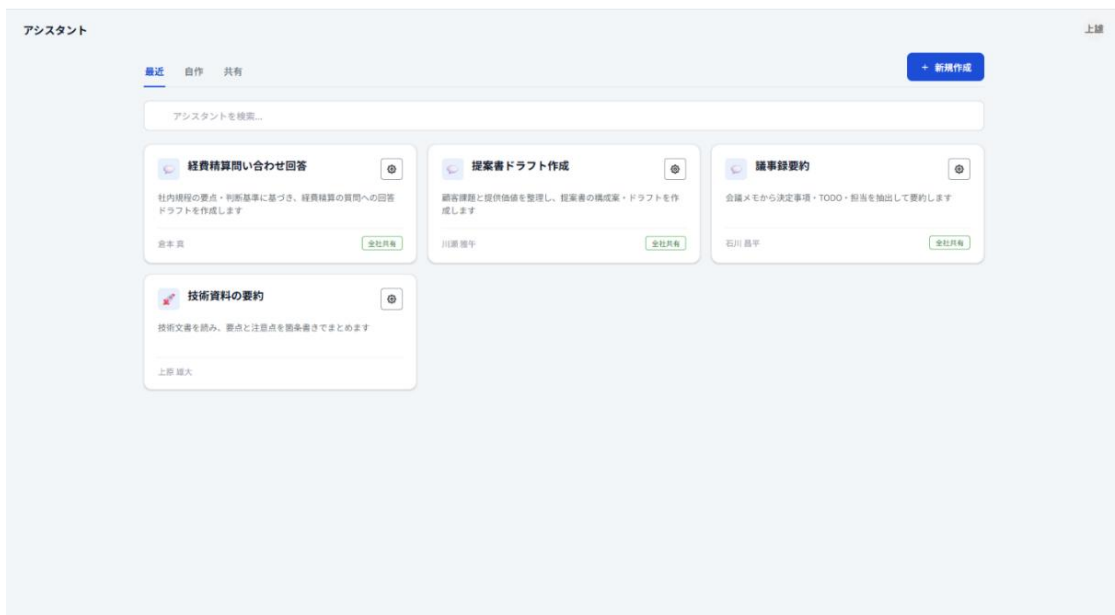
4. 利用状況・コストの可視化

企業全体、従業員別の利用量や傾向を可視化します。利用が一部の従業員に偏っている、高コストなモデルが過剰に利用されている、導入したものの活用が進んでいないといった状況を把握し、利用ルールや教育、モデル設定の改善につなげることができます。



5. 業務エージェントの作成・共有

業務や部署ごとに、前提条件、回答ルール、プロンプトなどを設定した AI エージェントを作成し、社内でも共有できます。社内規程案内、営業提案書作成、議事録整理、メール作成など、個人に依存していた AI の使い方を、組織共通の業務ツールとして展開できます。



6. OPTiM AIR でのセキュアな認証・ID 管理

「OPTiM Biz AI Agent β」は、オプティムのサービス基盤「OPTiM AIR」が備える ID・認証や運用・監視などの共通セキュリティ機能を活用しています。これにより、単体の生成 AI サービスでは実現しづらい安全性・信頼性の確保や、企業のガバナンス要件への対応が可能です。

■β プログラムについて

「OPTiM Biz AI Agent β」の正式版の提供に向けて、実際の企業環境における利用状況や運用上の課題を検証するため、先行導入企業を募集します。

◆募集概要

- ・ 募集対象:生成 AI の社内活用やガバナンス整備を検討している企業
- ・ 募集企業数:最大 100 社
- ・ 提供期間:1 年間
- ・ 利用料金:無償
- ・ 提供機能:社内 AI チャット、業務エージェント作成・共有、利用状況可視化、利用量管理、ログ管理、シャドーAI 対策など
- ・ 参加条件:利用状況に関するヒアリング、アンケート、フィードバックへの協力

応募企業には、利用予定人数、検証したい業務テーマ、生成 AI の導入状況などを確認したうえで、順次利用環境を提供します。

■「OPTiM Biz AI Agent β」概要

サービス名称	OPTiM Biz AI Agent β
提供形態	クラウドサービス
提供開始日	2026 年 8 月 19 日
対象	企業の情報システム部門、DX 推進部門、AI 推進部門、管理部門など
申込方法	以下のフォームよりお申し込みください。 https://www.optim.co.jp/contact/optim-biz-ai-agent

※1 「ID 数無制限」とは、契約企業においてサービスを利用できるアカウント数に上限を設けないことを指します。生成 AI の利用量については、企業単位で共有する上限を設けています。詳細は別途ご案内します。

※2 記載されているサービス名称、機能および提供時期は、β 版における予定であり、今後変更される場合があります。

※3 出典:IBM Security/Ponemon Institute「Cost of a Data Breach Report 2026」

※4 出典:独立行政法人情報処理推進機構(IPA)「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」(2026 年 1 月 29 日公表)
<https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats2026.html>

※5 リーガルチェック申請・壁打ちサポーターの効果は、以下を前提として算出しています。

申請作業時間の削減:1 回の利用で 30 分の効率化、導入前の申請作業を 1 件あたり 45 分と想定。

リードタイム短縮:1 回の利用で 1～2 ラリー分のやりとりを削減、1 ラリー＝1 日、導入前の確認往復を 4 ラリーと想定。

Press Release



製品情報: <https://www.optim.co.jp/services>
Facebook ページ: <https://www.facebook.com/optimjpn>
X ページ: https://x.com/optim_jpn

【株式会社オプティムについて】

商号: 株式会社オプティム
上場市場: 東京証券取引所プライム市場
証券コード: 3694
URL: <https://www.optim.co.jp/>
OPTiM TOKYO: 東京都港区海岸 1 丁目 2 番 20 号 汐留ビルディング 18 階
(東京本社)
OPTiM SAGA: 佐賀県佐賀市本庄町 1 オプティム・ヘッドクォータービル
(佐賀本店)
OPTiM KOBE: 兵庫県神戸市中央区小野柄通 7 丁目 1 番 1 号 日本生命三宮駅前ビル 11 階
代表者: 菅谷 俊二
菅谷 俊二
主要株主: NTT 東日本株式会社
富士フイルムホールディングス株式会社
設立: 2000 年 6 月
資本金: 445 百万円
株式会社 NTT ドコモ、NTT ドコモビジネス株式会社、NTT 西日本株式会社、NTT 東日本株式会社、株式会社大塚商会、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、KDDI 株式会社、株式会社小松製作所、ソフトバンク株式会社、パナソニックソリューションテクノロジー株式会社、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社、リコージャパン株式会社など(五十音順)
主要取引先:
事業内容: AX 事業
アグリテック事業

【Copyright・商標】

※ 記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。
※ 本プレスリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。商品・サービスの料金、サービス内容・仕様、お問い合わせ先などの情報は予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社オプティム 広報担当
TEL: 050-1746-3938 FAX: 03-6435-8560
E-Mail : press@optim.co.jp

OPTiM Biz AI Agent β お問い合わせフォーム : <https://www.optim.co.jp/contact/optim-biz-ai-agent>